

日本原子力学会 核燃料部会
令和5年度第二回運営小委員会議事録

日時 : 令和5年8月28日(月) 12:20~13:10 於 第33回夏期セミナー会場
出席者 : 佐藤部会長, 尾形副部会長, 逢坂副部会長, 宇田川委員, 内川委員, 小原委員, 片山委員, 川本委員, 樽松委員, 鶴田委員, 長嶺委員, 樋口委員, 森本委員, 渡部委員, 大谷(記)

議事

1. 前回議事録等の確認(資料1)

前回(令和5年度第一回)議事録は、確認済みであり、配布のみ。

2. 令和5年度核燃料部会業務分担について(資料2)

令和5年度核燃料部会業務分担は、前回以降変更無く、配布のみ。

3. 令和4年度収支実績と令和5年度予算について(資料3)

大谷より、令和4年度の収支実績(7月末時点)を反映した旨報告。

4. 企画小委員会の概要について(資料4)

逢坂副部会長から、8月24日に開催された企画小委員会について、夏期セミナーの収支等に係る状況、学会講演賞の審査方法見直し他について説明された。

5. 核燃料部会・部会賞(学会講演賞)について(資料5)

樽松委員から、前回の運営小委で議論となった、学会講演賞の審査方法について、研究内容への評価の充実を踏まえた評価票の再検討結果が報告された。2023年秋の大会の学会講演賞の評価より適用する。また、2023年秋の大会の学会講演賞の応募者の状況について報告された。

6. 2023年秋の大会での企画セッションについて(資料6)

樽松委員から、核燃料部会企画セッション「優秀な人材を核燃料分野に集めるには？」の見どころについて説明された。講演2件(宇埜先生(福井大)、加藤様(JAEA))、パネルディスカッション(黒崎先生(京大)、影山様(JAEA)、佐藤先生(東北大)、宮村様(JAEA))で構成され、座長の佐藤部会長中心にご準備頂いているところ。

7. WRFPMに関するMOUの改訂について(資料7)

逢坂副部会長から、WRFPM2023(中国)の場で、CNS,KNSとの打ち合わせにおいて、WRFPM2026はAESJ幹事、日本開催を予定していること、また、WRFPMという名称を、ENS,ANSが使用しているTopFuelに統一してはどうか

との提案、並びに ANFC の扱いを議論していくことを説明したこと、これらの議論結果を踏まえ 2024 年度中には MOU 改訂していきたい旨説明された。

運営小委委員からは、ANFC を WRFPM に統合してもよいのではないかとの意見の他、ANFC は、当初、学生の国際会議での発表のハードル下げる意味もあったと記憶しており、そのような経緯を踏まえた議論が必要との意見があった。コロナ等の不測の事態における開催の取り決め等も含め引き続き議論していくこととした。

8. 核燃料部会報について（資料 8）

川本委員から、核燃料部会報 No.59-1（2023 年 12 月末頃発行予定）の進捗について報告され、引き続き原稿作成に協力していくこととした。

9. WRFPM2026 幹事会の立ち上げについて（資料 9）

尾形副部会長から、WRFPM2026 の幹事会立ち上げについて、キックオフ会議（7/31）の内容について説明され、幹事会の立ち上げが承認された。幹事会メンバーは、MHI 殿、GNF-J 殿、NFI 殿、NFD 殿、電中研殿。引き続き、WRFPM2026 の日本開催に向け準備を進めて行くこととした。

10. IAEA TWGFPT 日本代表委員の推薦について（資料無し）

尾形副部会長から、IAEA TWGFPT 日本代表委員について、2023 年度末で 4 年の任期が切れることから、後任として、逢坂副部会長を推薦する旨説明され、承認された。

11. アジアジルコニウムワークショップへの共催について（資料 10）

ジルコネット主査阿部先生の代理にて、大谷から、第 6 回アジアジルコニウムワークショップ（AZW）を 2024 年 2 月に東大本郷キャンパスで開催予定しており、第 3 回 AZW（日本開催）と同じく、核燃料部会主催、また、日本原子力学会を共催で事務局に申請することについて説明し、了解された。引き続き手続きを進めて行く。

その他

2024 年春の年会の企画セッションについて、水化学部会との合同セッション打診が来ていること、また、2024 年度の夏期セミナーについて、3 部会合同（材料部会幹事、水化学部会、核燃料部会）、対面での準備を進めて行くことについて報告された。

次回、第三回運営小委員会は、令和 5 年 11 月 6 日（月）13 時 30 分から開催することとした。

以上